



- P2 12月議会概要、賛否一覧
- P3~12 一般質問で町政を問う
- P13 常任委員会活動報告
- P14 議会出前講座
- P15 最近の議会活動、議会広報研修会
- P16 要望書、編集後記

■ 標題は北明小学校6年 池田瑠菜さんの作品です
いけだるな

議会 だより

令和元年 **12** 月議会
第**60**号





令和元年12月議会定例会には、12月6日⇒1人、12月9日⇒2人、12月11日⇒4人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！

12月定例議会概要

12月定例議会は、12月6日から13日までの8日間で行いました。町長から、令和元年度補正予算、条例、教育委員の任命など19件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て、可決・同意しました。一般質問は10人が行い、まちづくり、豪雨災害、農業振興、高齢者福祉、幼児教育などについて、執行部の考えを質した。また、議員発議により「スポーツ・健康増進のまち」宣言を決議した。10月18日には、臨時議会が開催され、災害対応を中心とした補正予算を可決した。

賛否一覽

Table with columns for 議案番号, 議案, 結果, and 議員名 (友田香将, 重富邦夫, etc.). Rows include 10月臨時会 and 12月定例会 items.

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。

問 子ども虐待防止対策は

関係機関との連携を深めていく

議員 子どもたちを虐待から救う、また防止するため関係機関の連携が必要と思うが、保健福祉課長 支援が必要な児童や妊産婦、虐待を受けている児童の情報が入った場合は、要保護児童対策地域協議会の個別ケース検討会議を開催し、今後の対策を検討し連携して対応している。

この協議会は、児童相談所、医療機関、学校、保育園、警察、民生児童委員協議会などから構成されており、その調整を保健福祉課が担っている。今後もさらに充実連携を深め、虐待防止と早期発見、そして適切な対応に努めていく。

問 学校給食調理業務の民間委託状況は

有明中学校を委託しており、来年度は福富小学校を予定している

議員 学校給食調理業務の民間委託の状況は。学校教育課長 今年度は有明中学校を民間委託しており、来年度は福富小学校を委託するよう予定している。これは、全体の調理員の必要人数を確保できないことによる。本町が行う調理業務

の民間委託は、学校栄養士が配置されていることを条件としている。このため給食の質や味、食材の発注は、従来と変わらない。また、給食費も食材のみなので、保護者負担に影響ない。有明中学校の民間委託は、問題なく運営できている。



●全国町村会主催による町イチ！村イチ！（東京国際フォーラム）

問 町長の町外出張について

白石町長として、また、本町を含む団体の長として出張している

議員 町長の町外出張の状況は。町長 町政を運営するに当たっては、私人としての考えは捨て、常に公人として、白石町の町長として、究極は町民のために取り組んでいる。

今年になってから上京する機会は16回であった。特に多かったのが7月、8月、10月、11月であった。8月は次年度予算の概算要求額の取りまとめの時期、12月は次年度予算案が固まる時期でもある。

そのようなことから、この時期になると予算獲得に向けた各種大会や要望活動が集中している。さらに今年度は、「令和元年8月佐賀豪雨災害」などに対応する要望活動もあつたところである。本町は、山から海まで豊かな自然を持つ一方で、過疎、産業振興、基盤整備、治水そして災害対策など様々な課題も併せ持っている。

このような機会に、様々な要望を行い、本町の安全安心と笑顔で元気に暮らせる豊かなまちづくりのために努めていきたいと考えている。議員 町長の働きぶりなど、もっと町民の方へお知らせすべきではないのか。総務課長 町長の用務内容など町民の皆様へお伝えすることも検討したい。

草場祥則 議員





中村秀子 議員

問 町立保育園の今後の在り方は

答 白石町行政経営プラン等に基づき民営化の検討を始めたい

議員 保育園民営化による成果と課題は。

保健福祉課長 それぞれの保育事業者では特色を生かした保育園運営が行われている。また、民営化することで国庫負担金、県負担金を財源とした給付となり財政負担を軽減できる。また、保育士の雇用も非正規から正規職員となっている。6園とも施設の老朽化への対応が課題である。

議員 保育士のスキルアップの状況は。また、幼児教育センターの設置については。

保健福祉課長 園長の指導の下に園内、園外で研修が行われており、専門的知識と技術の習得に務められている。他県では幼児教育センターをスタートさせているが今後は内容を把握し、県の担当部局等へ意見等をしていきたい。

議員 支援が必要な子どもへの支援状況は。

保健福祉課長 支援の必要な園児には保育士の加配を行っている。また、町の幼児健診を行い必要に応じて保健師が園の訪問等を実施し、フォローしている。
議員 町立あかり保育園の運営費と今後の経営の在り方は。
保健福祉課長 平成30年度決算では約1億5千万円の運営費である。運営費の多くを占めるのが人件費である。また、昭和51年に建築され、老朽化しており、園舎をどうするか課題である。
議員 町立保育園に求められる機能と役割は、民間保育園でも担えることから、今後は民営化の検討を始めたい。

問 下水道第3期事業計画の見直しは

答 第2期工事が遅れているため、令和7年度以降の実施予定である

議員 下水道事業が公営企業会計となったが経営戦略は。

下水管理専門監 ① きれいな有明海を守る。
② 安全、安心な生活を支える。
③ 健全な経営で事業を継続する。この3つを基本にして、公営企業法適用に合わせ見直しを行う。

議員 独立採算制への見直し、及び指定管理者制度による管理は。

下水管理専門監 整備事業等の経費は一般財源からの繰り入れで賄っている。また、施設の老朽化への対応や人口減少による使用料収入の減少により経営は厳しい。現在管理運営は専門知識のある町内業者に委託している。先の事になるが、町

内全ての整備が完了後指定管理者制度の導入も検討していきたい。

議員 汚水処理人口普及率は。

下水管理専門監 平成30年度末で67・4%であり、合併浄化槽は毎年約60基設置されている。

議員 第3期事業計画

予定地区の浄化槽設置状況は。
下水管理専門監 築切地区35・5%、深浦地区43・4%。事業計画が認可されるまで浄化槽設置は補助対象となる。

議員 第3期事業計画の実施と見直しは。

下水管理専門監 第2期地区の進捗率は61・7%であり、令和6年度完了予定としている。第3期地区の実施は令和7年度以降となる。



●役場 生活環境課では無料でマンホールカード配布中

問 豪雨災害の対策は

答 既存の河川や地盤沈下対策水路の活用・改良を行う

議員 令和元年8月佐賀豪雨においては、本町内の住家・非住家（床上・床下）の浸水被害が987件にも及んだ。当然ながら、多くの農地も長時間にわたる冠水し農産物への被害にも甚大となった。今後は、豪雨災害は、毎年想定しておくこと

農村整備課長 現在、当時の農地・道路の冠水状況や水路・河川の

排水状況などについて、排水調整等にかかる町民の方々から聞き取りを行っているところである。先ずは、当時の状況把握を十分に行い、そして各地域の問題や課題などをあらい出し関係機関と連携して、災害に対して有効な排水対策を検討していきたいと考えている。

議員 今回の補正予算では豪雨災害及び台風17号の被害に対し農業機械・農業施設の修繕・再建及び畜産業に対する補助支援策は計上しているが、農産物に対するの補正予算の措置がないので国・県を含めた施策はどうなっているのか。

農村整備課長 農産物の被害に対しても国・県により支援策が発動された。支援策の内容は、冠水や強風及び塩害にて枯死した農産物

の再定植のための種子及び苗の購入のための支援と、被害にあった農作物の草勢等の維持回復や病害虫に対して必要な農薬・肥料などの生産的資材の追加購入に対する支援がある。有明海沿岸の台風による塩害も発生した水稻・大豆に関しては、作付け計画が確定したのちに速やかに国・県に要望していく。

議員 住居等が浸水し町民の財産が無駄になることがないようにすることや、農地が冠水し農業後継者並びに従事者の勤労意欲をそがなための方針は。

町長 基幹産業である農業は天候に左右されることが多い。いったん被災すると直接的に生活を揺るがす事になる。さらに水害では農業に限らず地域の産業や住民生活に多大な影響を及ぼす。内水氾濫



吉岡英允 議員

対策として、既存の河川や地盤沈下対策水路等の活用・改良を行いたい。また、今後も引き続き発言を行い国や

県に対して理解していただき災害に強く安全・安心なまちづくりを目指していく。



●塩害被害状況の視察



溝上良夫 議員

問 8月の佐賀豪雨により、新たに浮かび上がった課題は

答 避難勧告や避難指示など段階ごとの危険性を認識していただき早期避難を促したい

議員 令和元年8月佐賀豪雨時の役場関係部署の対応状況は。

総務課長 8月27日避難準備・高齢者等避難開始を発令し、18時から自主避難所を開設。20時55分に土砂災害警戒情報が発表されたことに伴い、災害対策本部を設置し、山間部へ避難勧告を発令した。

生活環境課長

家屋等の浸水被害を受けた世帯へ消石灰を配布し、衛生対策を行った。また、災害廃棄物については、収集し県内の処理施設に運搬し適切に処理した。

農村整備課長

8月26日から防災無線により事前排水の呼びかけを行った。翌27日から水路を巡視しながら、排水調整員に事前排水をお願いした。豪雨後から30日にかけては、各施設の被災状況の確認作業を行った。林道など復旧に県道の補助対象となる箇所については、現在申請の準備を行っている。

水路を巡視しながら、排水調整員に事前排水をお願いした。豪雨後から30日にかけては、各施設の被災状況の確認作業を行った。林道など復旧に県道の補助対象となる箇所については、現在申請の準備を行っている。

議員 水門や樋管の開閉作業の状況は。
建設課長 制水門や樋管、樋門の操作については、毎年の排水調整会議の中で、操作員の方に対してスムーズな上下流の連携による排水作業をお願いしている。今回の豪雨時においても、水位状況等を踏まえた適正な開閉操作が行われたと思う。

議員 排水機場の現場状況と課題は。
建設課長 町内には土木・農林系の排水機場は21箇所ある。早いところは8月26日から稼働し、最終は30日まで稼働していた機場もあった。今回の豪雨では、排水機場の能力不足はいなめなかつたと思っている。一部を除き老朽化が進行しているため、延命化対策を計画的に実施していくことが課題である。

議員 災害用備蓄品の活用状況は。
総務課長 備蓄食料や長期保存水、紙おむつ、毛布、防災マット等を倉庫に保管しており、これらの提供を行った。須古地区の救助活動時において、救命ボートを準備した。近隣市町の状況を鑑み、ゴムボートやライフジャケット等の必要性を認識したところである。

議員 新たに浮かび上がった課題は。
総務課長 記録的短時間大雨情報が発表されるなど、これまでに経験したことのないような短時間で多くの雨量があった。防災無線により呼びかけを行っていたが、避難情報や避難勧告、避難指示など段階ごとの危険性をどのように認識していたのか、今後、早期避難を促すように検証したい。また、災害現場の状況を早急に把握する必要があるが、



冠水した道路

道路冠水により現場へ向かうことができない問題もあった。
町長 未明から早朝にかけての短時間の豪雨により、まだ暗い中で被害状況の把握は容易でなかった。安全な避難誘導方法の検討や排水操作員への情報伝達などが課題となった。昨今の気象変動の中において、水害を完全になくすことは難しいが、被害を最小限に食い止めるよう、特にインフラ整備を国や県へ働きかけていきたい。

問 町を横断するような大規模排水路の整備が必要ではないのか

答 国・県の関係機関に粘り強く要請していきたい

議員 本町は低平地が多く、大雨時には宅地の浸水、農地や道路の冠水被害が毎年のように危惧されている。抜本的な対策のために、有明海に直接排水できる町を横断するような大規模排水路の整備が必要ではないのか。

建設課長 今後、河川管理者だけでなく農林部局、農政部局、都市計画部局を含め関係機関が連携して総合的な治水対策を行っていかなければならないと考えている。

また、災害の再発防止に向けた抜本的な治水対策についても議論や検討を行っていく必要がある。

町長 学識者の方々からの水理解析などの技術議論や多くの方の意見を参考にしながら、効果的で効果的な排水対策の実現に向け、国・県の関係機関に粘り強く要請していきたい。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。
産業創生課長 白石町観光振興基本計画においても、まだ実施に至っていないが、「杵島山系エコツーリズム」「しろいし周遊観光」「農漁村体験ツアー」の3つの観光テーマを設定している。

議員 杵島山系から有明海まで、豊かな自然と歴史を感じることをできる貴重な文化財性を持ち合わせているのか。宿泊可能としてある、うたがき研修センターやうたがきロッジをもう少し整備が出来ないか。

議員 観光地づくりは、観光ガイドの育成や取り組みができないか検討していきたい。

生涯学習課長 龍造寺隆信の遺髪を祀られているお社周辺は寺の所有地であり、草木の除草は町ではできかねる。

問 貴重な文化財を持ち合わせているが、どのように活用しPRにつなげているか

答 観光ガイドの育成や取り組みができないか検討していきたい

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

問 町民の方や関係者の方々から、野球場の建設要望があるが

答 今後も町内のグラウンドを利用していただきたい

議員 近年の子どもの外遊びが減少し体力低下が危惧されている。については、学校生活において、体力や柔軟性向上のために取り組めることはないか。

主任指導主事 町においては、食育の充実や家庭生活の重視及び家庭への啓発、自力登校の奨励などの取り組みを行っている。

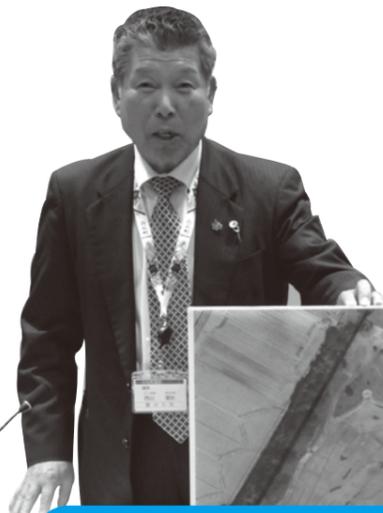
議員 パークゴルフ場については、より集客力と魅力あるとするために、充実したプレーができる施設改良ができないか。

町長 今後の利用者数の状況とパークゴルフ協会の皆様、一般利用者の皆様の意見を参考にして、より良い

施設となるよう検討していきたい。

議員 町民の方や関係者の方々から、白石町には野球場の建設は出来ないのかと要望がある。何回となく言っているが、前向きな答弁がなされていない。将来を見据えた考えを聞きたい。

生涯学習課長 今後も町内のグラウンドを利用していただきたい。



西山清則 議員

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。

議員 観光ルートの開発や交流人口の拡大への対策について、現在どこまで進んでいるのか。



●パークゴルフ大会



内野さよ子 議員

問 人口減少に伴う公共施設再編と地域のあり方は

答 地域づくり協議会のモデル事業を始める

議員 全国的な人口減少に伴い、公共施設等総合管理計画が策定され、個別管理計画も予定されているが進捗状況は。

白石創生推進専門監

将来的な財政負担を軽減・平準化するため、個別管理計画を策定する。今年度に老朽化状況調査を実施し、次年度以降に基本方針等の取りまとめを行う。

また、財政的な面からも11校の維持は困難である。
学校教育課長 学校統合再編審議会で、慎重に審議されている。3月までに答申予定。その後計画案を作成し、住民説明会やパブリックコメントなど広く意見を聴取することとしている。

議員 小中学校は義務教育の基幹的な施設である。同時に地域の暮らしにも直結している。地域のあり方をどう考えているのか。現在、国連のSDGsの目標の一つにも「持続可能なまちづくり」が盛り込まれているが、まさに町が進められている地域づくり協議会などでは。

白石創生推進専門監

平成30年度に地域づくり検討委員会を発足し、今年度からモデル事業に取り組んでいる。地域課題の解決や地域の強みを生かした取り

組み等が検討される。議員 公共施設管理計画の問題や、学校統合再編また地域のあり方が大事であり、専門部署の設置等の計画は。

白石創生推進専門監 総合的に考えることは必要だが、組織機構再編の中で具体的に取組んでいく。

議員 馬田交差点は右折帯がなく、朝夕の通勤時等渋滞となる。交通調査など状況を把握しているのか。

議員 馬田交差点は右折帯がなく、朝夕の通勤時等渋滞となる。交通調査など状況を把握しているのか。
建設課長 県が事業主体となり、取り組んでおり、平成26年度、交通調査も行われ、現地測量は完了していた。その後計画変更され、再測量設計業務も完了している。議員 工事が遅れている理由は。
建設課長 将来の交通

答 年度内に説明会が予定されている

問 県道武雄福富線の馬田交差点の改良工事は

問 防災意識向上のため想定浸水高の明示を
答 支柱へステッカーの貼付手続きを進めている
議員 町中に想定浸水高を明示し、ハザードマップの見える化に取り組む必要があると思うが。
総務課長 国県道の案内表示板の支柱へステッカーを貼付できるよう手続きを進めている。

※SDGs(エス・ディー・ジーズ)：国連加盟193か国が2016年からの15年間で達成するために掲げた持続可能な開発目標



馬田交差点

問 食品ロスの削減の取り組みは

答 啓発活動に取り組み町民の意識を高めた

議員 食品ロスの削減の推進に関する法律が施行された。10月は食品ロス削減月間とされていたが、本町の取り組みは。

生活環境課長 食品ロスを削減することは、ゴミの発生を抑えると共に、温室効果ガス削減などの環境負荷低減効果にもつながる。10月の広報紙やケ

ブルテレビを活用し、啓発を行っている。

議員 学校教育分野における食品ロス削減の推進は。

主任指導主事 技術・家庭科の目標の中に「生活の営みに係る見方、考え方を働かせ」と記載され、「持続可能な社会の構築」という視点で、食品ロスについて議論する学習が

設定されている。また、各学校では、給食・食育に係る年間指導計画を作成している。学級活動や給食の時間を通して「残さず食べるこ

と、「食べることでできる量をつぎ分けること」など、食べ物を残さない意識の醸成を図っている。

問 認知症対策として

答 佐賀県認知症疾患医療センターへ業務を委託し支援を行っている

議員 認知症初期集中支援チームの実働状況は。

長寿社会課長 業務委託しているセンターでの支援の実働は、支援した人数は14人、訪問回数は180回、支援期間は平均4箇月であった。



溝口 誠 議員

認知症は、早期発見と早期対応が重要であり、正しい知識の普及啓発により、地域で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて取り組んでいきたい。



子育て世代包括支援センター

問 子育て支援の充実策は

答 1月から子育て世代包括支援センターを設置し支援を行う

議員 幼児教育・保育の無償化に伴う現状と課題は。

保健福祉課長 10月からの無償化に伴った保育所と認定こども園への途中入園はない。また、保護者からの苦情等を含めて特に課題はない。今後の課題としては、入園希望が増加するとこれまで以上に

保育士の確保が必要になると思われる。議員 子育て支援の充実については、特に大切な産後ケアの拡大と多胎児を持つ家庭への育児支援が必要と考えられるが。
保健福祉課長 生後2箇月までの乳児のいるすべての家庭を対象に、保健師や母子保健推進員などが訪問している。必要に応じ相談会や子育て支援サービ

スのファミリーサポート事業や乳幼児一時預かり事業へつなげている。また、産後の支援の必要性の高い家庭へは養育支援訪問事業も行っている。子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたって、支援の充実に取り組みしていきたい。



重富邦夫 議員

問 農地・水組織の広域化を進めるべきでは

答 合意形成ができれば支援していく

議員 事務作業の負担、役員のなり手不足等で、各組織の取り組みに、差が生じていないか。

農村整備課長 組織体制が確立している組織もあるが、役員の確保や事務の面倒さで、苦慮されている組織もある。

議員 本来、施設の建設・維持管理等は白土地区改良区が担うものではないのか。事務や情報の一元化が構築できれば、農村環境を一体的に管理できる。農地・水組織との関連性も含めて、見直す必要があるのでは。

町長 この地域活動に負担すれば、町全体の地域資源の適切な保全管理へつながる。土地改良区の事業展開の中で、働きかけていく。

議員 認知症の方による、事故・トラブルで高額な損害賠償を負う場合がある。救済制度の導入を検討すべきでは。

長寿社会課長 武雄市、吉野ヶ里町が導入しているが、個々に加入すべき個人賠償保険という考えもあり、今後調査していく。

議員 認知症患者へG

議員 事務作業の負担、役員のなり手不足等で、各組織の取り組みに、差が生じていないか。

農村整備課長 広域化を望む声は6割を占め、現状維持は3割程度である。条件が整えば可能である。

町長 地域の活動を維持して頂き、広域化する事で、その効果が增大するのであれば、支援していきたい。

議員 結婚式の引出物等に、町内全事業所で使用できる商品券や、地元産品を掲載した力タログギフトで、資金が循環する仕組みがつかれないか。

議員 結婚式の引出物等に、町内全事業所で使用できる商品券や、地元産品を掲載した力タログギフトで、資金が循環する仕組みがつかれないか。

議員 子どもを犯罪から守るため、GPS機器を利用し、警察と連携をとるべきでは。

議員 認知症患者へG

問 認知症保険救済制度の導入を
答 制度について調査していく

議員 認知症の方による、事故・トラブルで高額な損害賠償を負う場合がある。救済制度の導入を検討すべきでは。

長寿社会課長 武雄市、吉野ヶ里町が導入しているが、個々に加入すべき個人賠償保険という考えもあり、今後調査していく。

議員 認知症患者へG

議員 認知症の方による、事故・トラブルで高額な損害賠償を負う場合がある。救済制度の導入を検討すべきでは。

長寿社会課長 武雄市、吉野ヶ里町が導入しているが、個々に加入すべき個人賠償保険という考えもあり、今後調査していく。

議員 認知症患者へG



●新拓健康サロン

問 IT技術で業務改善と住民サービス向上を

答 費用対効果や業務の本質をふまえて検討を行う

議員 職員の超過勤務改善への取組は、IT化を進め業務改善に取り組めないか。

総務課長 事務の効率化や業務委託など取組む。IT技術の導入は費用対効果や業務の本質を踏まえて検討を続けていく。

議員 公共施設利用のネット予約はできないか。

議員 観光地整備の状況は、

産業創生課長 必要と考える。今後、年次計画を作成を考えていく。

議員 駅前及び周辺の整備・活性化施策は、

議員 職員の超過勤務改善への取組は、IT化を進め業務改善に取り組めないか。

総務課長 IT化する事で既存の利用者にと都合が無いよう、検討していきたい。

議員 ホームページやSNSの活用推進をどのように進めるのか。

議員 観光地別の個別整備計画が必要ではないか。

議員 駅前及び周辺の整備・活性化施策は、

議員 駅前及び周辺の整備・活性化施策は、

問 地域の後継者育成に、町の関わり方は

答 担い手の育成や地域コミュニティの醸成に努める

議員 地域の担い手不足は深刻である。後継者育成に町はどのように関わっていくのか。

町長 担い手不足は人口減少に起因する全国的な問題。自治組織の役割決定に積極的に取り組めないが、担い手の育成や地域コミュニティの醸成に努めていきたい。

友田香将雄 議員



●学校統合再編審議会

問 学校跡地や施設の利活用は

答 議論はまだ早い、特別支援学校を誘致したい思いはある

議員 学校統合再編後の跡地・施設の利活用について、議論をどのように進めるのか。

議員 学校跡地を利用する事で、特別支援学校の誘致をお願いしたい。

議員 学校統合再編審議会の答申が出た後に、具体的な方針を検討していく。

議員 町づくりの観点から、学校跡地を利用する事で、特別支援学校の誘致をお願いしたい。



前田弘次郎 議員

問 8月豪雨災害時の避難所開設は

答 役場、有明公民館、ゆうあい館の3箇所を開設、その後4箇所を追加で開設

議員 8月の豪雨災害

時には避難所を開設されたが、地域住民からの要望により開設した有明南小学校をはじめ、避難所の開設状況は。

の方が避難された。

有明南小学校は山間部であり、南地区からの避難については距離的な面を考えると最適な避難所である。しかしながら、床が板張りであることや空調の面など、長期的に行う場所としては環境的に難しい面もある。

問 道の駅しろいしの運営状況は

答 円滑な営業状況である

議員 道の駅しろいしの直売所と、福富直売所との比較は。

産業創生課長 福富直売所の過去3箇年の同期の平均売上と対比すると、約1・8倍の売上増となっており、円滑な営業状況である。

議員 各部門の従業員

の確保と研修の状況は。
産業創生課長 正社員、パート職員あわせて39名で、特に運営に問題ない。研修については、管理上必要な食品衛生責任者研修等への参加、販売に関する研修としてPOPの表示研修、また内部研修として接客研修なども行われており、今後は県外の道の駅へ、職員参加の視察研修も計画されている。

議員 商品の確保と販売上の課題は。

産業創生課長 夏場や端境期に出荷される農産物が少なく、従業員の方が商品確保に苦労した。今後の課題としては、年間を通じ提供できる商品を安定的にどれだけ集められるか。また、それに対応する生産者をどれだけ増やせるかが課題である。

議員 白石町にない商品などは、ほかの道の駅等とタイアップし販売促進するなど、考え

は。
産業創生課長 現在、県内9駅による「道の駅連絡会」というネットワークがあり、他地区の駅長から、お互いに無い農産物等をタイアップしながら販売し

ないかという依頼も確かにあるが、道の駅しろいしは、当初から町内産にこだわるといふ事をコンセプトに営業している。

議員 観光バスなどにより、多くのお客様を迎える考えはないか。

産業創生課長 現在、月平均約90台、1日では平均3台の観光バスが来場されている。今は、現在整備中の有明沿岸道路福富インターチェンジの開通を想定しながら、より多くの観光バスを受け入れられる体制の構築について、道の駅しろいしカンパニーと協議していく。

議員 有明沿岸道路福富インターチェンジが開通した後は、交通量の増加で、現在の駐車



●道の駅しろいし(右 山下駅長と左 久原店長)

場では不足するのでは。

町長 道の駅しろいしは、道路休憩所としての重要な機能を有している、今後は、道の駅でのイベント開催などにより、現在設置している道の駅駐車場の駐車スペースを超える来場者が見込まれ、通常の道路利用者が道路休憩所として利用できない等、利用者に支障をきたすようであれば、新たな駐車場の確保も必要と考える。

総務常任委員会

宮城県松島町行政視察研修

11月1日、宮城県松島町を視察した。松島町では、東日本大震災からの復興とまちづくり、議会改革の取り組みについて研修を行った。復興交付金事業の進捗状況では、令和3年3月に全ての事業が完了するということであった。避難所、防災施設は国庫金で建設できたが、避難所は目的外使用ができないことや維持管理費が毎年の大きな負担であることの説明を受けた。

総務委員会では、事前の防災対策が重要であることを認識した。



●松島町議会との意見交換

文教厚生常任委員会

宮城県加美町行政視察研修

11月1日、宮城県加美町を視察した。廃校した学校施設を文部科学省みんなの廃校プロジェクト事業により、音楽習得施設に転用され国立音楽院を誘致されていた。音楽のまちづくりはもとより、音楽を仕事に結びつける環境により、移住者の増加にも寄与されていることであった。文教厚生常任委員会では今回研修で学んだことを参考とし、公の施設の在り方について研究を重ねていきたい。



●加美町議会との意見交換

産業建設常任委員会

新品種野菜の研究状況を視察

11月1日、宮城県名取市農業・園芸総合研究所を視察した。研究所では西洋料理に合う野菜や施設園芸の新品種開発に鋭意に取り組まれており、研究技術の高さに大変感心した。

産業建設常任委員会では、玉ねぎ、レンコンに代わる次世代の特産品や新品種の野菜栽培ができる環境について研究を重ねていきたい。



●野菜栽培の状況について説明を受ける

議会出前講座

最近の主な議会活動 10月～12月

| 日 | 曜 | 内容 |
|-------|---|-------------------------------------|
| 1 | 火 | 県民スポーツ大会結団式 |
| 3 | 木 | 学校訪問（有明東小学校） |
| 4 | 金 | 学校訪問（有明南小学校） |
| 7 | 月 | 議会だより編集会議 |
| 8 | 火 | 議員例会・説明会※ 台風17号塩害現場視察 |
| 9 | 水 | 県町村議会議長会行政視察（～11日） |
| 10 | 木 | 議会出前講座（嘉瀬川公民館） 男女共同参画等に関する懇話会 |
| 11 | 金 | 議会運営委員会 太良町議会から視察（いちごトレーニングファーム） |
| 17 | 木 | 松尾文則氏全国町村議会議長会就任祝賀会 学校統合再編審議会 |
| 18 | 金 | 臨時議会 |
| 19-20 | 日 | 県民体育大会 |
| 20 | 日 | 有明中学校文化発表会 |
| 21 | 月 | 婚活サポーター情報交換会 |
| 23 | 水 | 学校訪問（福富小学校） |
| 25 | 金 | 国道207号線、有明海沿岸道路要望活動 |
| 27 | 日 | 白石中学校文化発表会 チャリティー舞踏公演 縫ノ池茶会 |
| 28 | 月 | 議会出前講座（六府方公民館） 婚活サポーター情報交換会 |
| 31 | 火 | 常任委員会視察研修（～1日） |

| 日 | 曜 | 内容 |
|----|---|------------------------------------|
| 6 | 水 | 県町村議会議長会議 |
| 7 | 木 | 同和問題市町講座 |
| 8 | 金 | 議員例会・説明会※ |
| 9 | 土 | 有明文化まつり（～10日） |
| 12 | 火 | 学校訪問（福富中学校） 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会勉強会 |

| 日 | 曜 | 内容 |
|----|---|---|
| 13 | 水 | 町村議会議長全国大会、新過疎法制定実現総決起大会（～15日） 有明中学校研究発表会 |
| 14 | 木 | 学校訪問（白石中学校） 交通安全対策会議 議会出前講座（牛屋西分研修センター） |
| 18 | 月 | 県町村議会広報研修会 地域問題懇談会（商工会） |
| 19 | 火 | 杵藤地区広域市町村圏組合議会、庁舎開庁式 |
| 20 | 水 | 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会 学校統合再編審議会 |
| 22 | 金 | 災害時における物資調達及び供給に関する協定調印式 |
| 25 | 月 | 議会運営委員会 商工会建設工業部会からの要望 |
| 26 | 火 | 環境審議会 |
| 27 | 水 | 差別の現実学ぶ研究会 |
| 29 | 金 | 商工会からの要望 |
| 30 | 土 | 商工会とシルバー人材センターからの要望 社会福祉大会 |

| 日 | 曜 | 内容 |
|----|---|-------------------------------------|
| 1 | 日 | 白石町教育の明日を考えるシンポジウム |
| 5 | 木 | 武雄森林組合からの要望 |
| 6 | 金 | 12月定例議会開会 議員例会・説明会※ |
| 9 | 月 | 一般質問 |
| 10 | 火 | 一般質問 |
| 11 | 水 | 議案審議 |
| 13 | 金 | 議案審議 議会閉会 |
| 16 | 月 | 日本郵政との包括連携協定調印式 |
| 17 | 火 | 学校統合再編審議会 |
| 19 | 木 | 婚活サポーター情報交換会 白石町文化振興財団評議員会 |
| 22 | 日 | 全国高校女子駅伝大会応援 |
| 24 | 火 | 西佐賀水道企業団全員協議会 子ども子育て会議・子ども未来応援会議 |
| 26 | 木 | 西佐賀水道企業団臨時議会 JAからの要請 |

議員例会・説明会 毎月10日前後に、議員説明会を開催し、本会議に付される議案以外の重要案件や町民の皆様からの要望についての対応状況など執行部から説明を受けている。

これからの議会広報紙に大切なことを学ぶ

11月18日、佐賀県町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加した。
これからの議会広報紙は議事・議会活動を的確にし、読みたくなる紙面づくりをしなければならぬ。そのためには、行政・住民・議会の信頼関係を築き、情報の共有・情報公開と編集のポイントであるレイアウトの大切さを学んだ。また、他町村の広報紙クリニックではさらに身近な編集方法や改善点など大変参考となった。我が町の議会だよりも活かせるよう研究を重ねていきたい。



嘉瀬川・六府方・牛屋西分の地区老人会に出向きました。議会のしくみ・町政全般、行政サービス、豪雨災害・塩害被害報告・防災対策、空き家対策、学校統廃合経過報告、住民健診の推進、婚活、有明沿岸道路・道の駅、いこカー制度、トレーニングファーム・農業塾などについて意見交換を行いました。
各地域の皆様も会合の際には、どうぞ議会出前講座を活用ください。

左から井崎好信、片淵彰、吉岡英允、重富邦夫、友田香将雄



10月10日（木）
嘉瀬川老人会（会員30人）

右から内野さよ子、定松弘介、溝上良夫、西山清則、前田弘次郎



10月28日（月）
六府方老人クラブ（会員40人）

右から、草場祥則、大串武次、溝口誠、川崎一平、中村秀子



11月18日（月）
牛屋西分老人クラブ（会員66人）

要望書を受け取りました

●町内業者への工事等発注に関する要望

提出者 白石町商工会 建設工業部門
部会長 野中正博

●令和2年度白石町商工業振興対策費補助金の要望

提出者 白石町商工会
会長 門田憲治

●「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望

提出者 一般社団法人 白石町シルバー人材センター
代表理事 淵上 忍

●森林組合育成助成金予算措置に関する要望

提出者 武雄杵島森林組合長 杉原 豊喜

スポーツ・健康増進のまち宣言

白石町は、町民全てが健やかで心豊かに暮らすことを願い、スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のある町を目指すことをここに宣言します。

宣言目標

- 1 私たちは、スポーツ・運動を通して、健やかでたくましい体をつくり、健康で充実した生涯を目指します。
- 1 私たちは、スポーツ・運動を通して、豊かな心と笑顔で充実した日々の暮らしを築きます。
- 1 私たちは、スポーツ・運動を通して、地域の交流を図り、明るく活力ある町づくりを進めます。
- 1 私たちは、スポーツ・運動を通して、郷土への誇りと和の心を育み、人と大地がうるおい輝く、豊穡のまちを築きます。

令和元年12月13日

佐賀県白石町議会

議会戦隊 炊飯ジャー

第25話「審議」



※審議:本議会において議案などの案件について説明を聞き、疑問をただし、討論表決する一連の過程のこと。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害により白石町をはじめ、全国的にも多くの地域が甚大な被害に見舞われた1年でした。

議会としても、早期の復興に尽力すると共に、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりに精進してまいります。

今後とも広報活動を通じ、工夫をしながら『伝える』努力を重ねていきたいと思っております。今年も1年よろしくお願い致します。(S.K)



白石町議会だより/第60号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

編集委員/委員長 前田弘次郎
副委員長 友田香将雄
委員 川崎 一平
" 定松 弘介
" 中村 秀子
" 重富 邦夫